

定期テストで100点満点を取ろう

練習は不可能を可能にする

開倫塾

林 明夫

Q 開倫塾は学校の定期テストで100点満点を取ることを塾生の皆様に勧めています。なぜですか。

A (林明夫。以下省略)定期テストで100点満点を取ると気持ちがよくなり、その科目が好きになり、その科目がますます勉強したくなり、その科目が得意になるからです。

得意科目は、もっともっと勉強したくなりますから、ますます学校の成績がよくなります。学校の成績がよくなれば、自分の希望する学校に入学することができます。

開倫塾では、自分の希望する行きたい学校を「一流校」と呼んでいます。自分にとっての「一流校」合格の第一歩は、学校の定期テストで1科目でも多く100点満点を取ることだと私は確信します。

Q 定期テストで100点満点を取ることはできますか。

A 誰でも定期テストで100点満点が取れます。必ず取れます。

Q えっ、本当ですか。

A 本当です。ただし、100点満点を取るにはそれなりの考え方、やり方があります。私の考えをお聞き下さいね。

私の考え方は、開倫塾を始めた31年前と全く変わっていません。次のかけ算が大事です。

$$\boxed{\text{学習効果}} = \boxed{\text{学習方法}} \times \boxed{\text{学習時間}}$$

定期テストで100点満点を取るという「学習効果」を手に入れるためには、それを取るためのやり方つまり「学習方法」と一定の「学習時間」が必要です。これは「かけ算」ですから、「学習方法」がよくても、「学習時間」がゼロなら「学習効果」はゼロ、つまりよい点は取れません。また、逆に「学習時間」をいくら多く取っても、「学習方法」がよくなければよい点は取れません。

100点満点を取るには、勉強の方法と時間をかけることが大事だということです。

Q どのような「学習方法」をとればよいのですか。

A まずは、「定期テスト範囲」の学校の教科書に書いてあることや学校・開倫塾の授業中にノートしたことを、学校の先生や開倫塾の先生の授業をよく聴いてスミからスミまで「うん、なるほど」と十分「理解」することです。ことばの意味がわからないときは、「辞書」や「参考書」でよく調べ、ノートに書き写しておくことです。「うん、なるほど」と十分「理解」することが第一です。

次は、一度「うん、なるほど」と十分「理解」したことを、スミからスミまで正確に身に付ける、覚える、つまり「定着」させることです。

「定着」させるには、3つの方法があります。

教科書やノートを大きな声を出して読む練習、つまり「音読練習」をしてスラスラ読めるようにした上で、何も見ないで言える、口をついて出るまでにすることです。

何も見ないでスラスラ言えるようになったことを、何も見ないで正確に書けるまで練習すること。つまり「書き取り練習」をすることです。書くときは、学校の教科書の「書体」つまり「楷書体(かいしょたい)」で書けるようにしましょう。書き順にも気をつけましょうね。

教科書に出ている計算や問題で先生の授業を聴いてなぜそのような解答になるか「うん、なるほど」と十分「理解」したものについては、何回も何十回も同じ計算や問題を解くことで、問題を見た瞬間に正解が出るまでにすることが大事です。これを「計算・問題練習」と言います。

以上、「音読練習」、「書き取り練習」、「計算・問題練習」の3つの練習を、「定着のための3大練習」と開倫塾では呼んでいます。

Q 最後に一言どうぞ。

A 一度「うん、なるほど」と十分「理解」した教科書とノートの内容を、「定着のための3大練習」でスミからスミまですべて正確に身につけること。これが、定期テストで100点満点を取るための「学習方法」です。

この「学習方法」を実施するために、「学習時間」を十分に取ることが大事です。

できれば定期テストの1～2か月前から、今私がお話した勉強方法をとれば、誰でも定期テストで100点満点が取れます。

自分の未来は自分で切り開く。自己責任、自助努力(自分の身は自分で助ける)が大事です。がんばりましょう。

以上